

特 記 仕 様 書

第1条 適用

本特記仕様書は、建設部道路整備課発注の 櫛形7号線道路植栽管理業務委託 において定めるものとする。また、この定めのないものについては、山梨県制定土木工事標準仕様書に基づくものとする。

第2条 作業時間

本業務の作業時間は、下記のとおりとする。

時間帯 : 作業開始 8時00分

作業終了 17時00分

なお、薬剤散布は監督員と協議し時間を決定すること

時期 : 委託契約期間中

なお、やむを得ない事情により作業時間帯を変更する場合は、監督員と協議の上決定する。また、決められた作業時間を厳守し、それ以外の時間帯での作業は行わないよう徹底する。

第3条 生育空間の制約

街路樹を仕立てていくうえでの生育空間の制約は次のとおりとし、制約を満足するように管理を行うこと。

1. 最下枝は、可能な限り道路と平行の枝とし、枝下高を約 **2.5m** まで下げることとする。
2. 車道側建築限界は **4.5m**、歩道側建築限界は **2.5m** となる下枝高とし、この建築限界を越え、通行等の障害とならないことを原則とする。
3. 歩道側建築物とは、**1m** の離隔を確保することとする。
4. 車道及び歩道における機能（通行）、施設（信号、標識等）に支障が生じた場合には、監督職員の指示を受けることとする。

第4条 交通及び保安上の措置

1. 交通管理

作業区域内の円滑な道路交通を確保するために、作業現場における標示施設、防護施設の設置及び適正数の交通整理員の配置、並びにこれらの管理の取扱いを次のとおりとする。

ただし、現場の状況により柔軟に対応し、第三者の安全には充分留意し一般交通への影響を極力少なくすること。

2. 一般事項

- ① 作業を行う場合は、所轄警察署・道路管理者との協議に基づき必要な道路標識の設置、交通整理員の配置を行うほか業務の起終点に必要な標示板を設置する。

- ② 夜間作業又は昼夜間作業を行うときは、通行者に業務区間及び通行制限状況が明確に確認できるように必要な処置をとる。
- ③ 一般車両の進入を防ぐ必要がある場合は、両面にバリケードを設置し交通に対する危険の程度に応じて、赤ランプ・標柱等を用いて現場を囲む。
- ④ 作業現場における標示板及び防護施設は、堅固な構造とし所定の位置に整然と設置し、修繕・塗装・清掃等の維持を常時行うほか、夜間において遠方から確認し得るよう証明又は反射装置を施す。
- ⑤ 「片側通行止め」をして作業を行う場合は、通行を許す部分の路面は常に良好な状態に維持して交通に支障を与えてはならない。
- ⑥ 本業務の作業に際しては、道路工事交通安全施設設置基準により交通整理員及び保安施設を設置するものとする。当業務の交通誘導期間は概ね昼間 2 1 日、夜間 1 日の作業日数にそれぞれ 2 名とし、計 4 4 名とする。

第 5 条 関係機関との調整

作業を実施するに当たり、あらかじめ所轄警察署などの関係機関及び電線等の占有者と協議を行い、作業に支障のないよう調整する。

第 6 条 安全・訓練等の実施

本業務の作業に際し、現場に即した安全・訓練等について作業着手後、原則として作業員全員の参加により、月当たり半日以上時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し、安全・訓練等を実施するものとする。

- 1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2. 本業務内容等の周知徹底
- 3. 本業務安全施工技術指針等の周知徹底
- 4. 本業務における災害対策訓練
- 5. 本業務で予想される事故対策
- 6. その他、安全・訓練等として必要な事項

第 7 条 安全・訓練等の実施状況の記録

安全・訓練等の実施状況をビデオ等または作業報告（作業月報）に記録し、完了検査時に報告できるように準備すること。なお、委託期間中であっても監督員が実施状況の確認を必要とした場合は、速やかに中間報告するものとする。

第 8 条 住民への周知徹底

作業に先立ち、地元自治会及び地元住民に対し、必要に応じてパンフレットの配布、作業看板の設置等により、周知活動を徹底すること。

第9条 その他

本業務は、ウィークリースタンスの対象業務である。業務の実施にあたっては、「南アルプス市ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受注者相互に協力し、取り組むものとする。

本特記仕様書に記載のない事項及び疑義が生じた場合については、監督員と協議の上決定するものとする。